

2025 年 12 月 15 日

## 大転換を迎えたユーロ圏のバリューストックに厳選投資する H S B C ユーランド・バリュー株式ファンド（1 年決算型）を設定

H S B C アセットマネジメント株式会社（以下、「当社」と言います。）は、H S B C ユーランド・バリュー株式ファンド（1 年決算型）（以下、当ファンドと言います。）を 2025 年 12 月 29 日に設定することを発表しました。当ファンドは、当初申込期間開始日の 12 月 15 日からいちよし証券株式会社にてお取り扱い開始となります。

国をまたいだ単一通貨の巨大経済圏であるユーロ圏は、その誕生以来拡大を続け、現在では米国、中国に次ぐ経済規模を誇ります。経済や安全保障面で取り巻く環境が変化する中で、今年に入り、ユーロ圏各国および EU は経済、防衛面で積極財政へと大きく方針を転換させました。特に EU が打ち出した成長戦略「競争力コンパス」は、競争力強化や投資拡大を促し、持続的な経済成長を実現する大きな原動力となると考えられます。

ユーロ圏の株式においては、米国株式に比べると割安な水準で推移してきており、特に近年は米国株式の割高感が強まるなかで、より一層その魅力が高まっています。さらに、ユーロ圏株式の中でも割安で回復力の高いバリューストックのパフォーマンスは、グロース株を上回っています。

当ファンドは、バリュエーションと収益性の観点から魅力的な銘柄を厳選し、割安な優良企業の投資より長期にわたる良好なパフォーマンスを目指します。当ファンドの運用戦略は約 20 年の優れた実績を有しており、パリを拠点とする欧州株式運用チームが担当します。

当社では、今後もお客様のご要望に応じた投資信託やサービスをご提供して参ります。

市況動向やファンドの資金動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

次頁に続く

## ファンドの特色

### 1. 主にユーロ圏の株式等に投資します。

- ▶ 「HSBC グローバル・インベストメント・ファンド－ユーロランド・バリュー\*」(以下「主要投資対象ファンド」)への投資を通じて、主にユーロ圏の株式またはユーロ圏で主たる経済活動を行う企業が発行する株式等(以下「欧州株式等」)に投資します。

\* 以下、「HSBC GIF ユーロランド・バリュー」という場合があります。

※主要投資対象ファンドは、委託会社の判断により、適宜見直しを行うことがあります。

- ▶ 欧州株式等を投資対象とするETF(上場投資信託)にも投資します。また、主要投資対象ファンドに加えて、欧州株式等を投資対象とする外国籍投資信託証券に投資する場合があります。
- ▶ 主要投資対象ファンドの組入れを高位に保つことを基本とします。なお、ETFの組入れは低位とします。
- ▶ 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

### 2. 主要投資対象ファンドの運用は、HSBCアセットマネジメント内の運用会社が行います。

- ▶ HSBCアセットマネジメントに加え、HSBCグループ内の情報ソースを活用します。

### 3. 年1回の決算時に、分配方針に基づき、分配を行います。

- ▶ 決算日は、毎年1月20日(休業日の場合は翌営業日)です。

(注)将来の分配金について保証するものではなく、分配を行わない場合もあります。

市況動向やファンドの資金動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

次頁に続く

## ファンドの主なリスク

投資信託は元本保証のない金融商品です。また、投資信託は預貯金とは異なることにご注意ください。当ファンドは、主に値動きのある外国の有価証券を実質的な投資対象としますので、組入有価証券の価格変動あるいは外国為替の相場変動次第では、当ファンドの基準価額が下落し、投資者の皆さまの投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。

### 基準価額の変動要因

#### 〈主な変動要因〉

株 価 変 動 リ ス ク	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。株価は短期的または長期的に大きく下落することがあります。株式市場には株価の上昇と下落の波があり、現時点で価格が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。
信 用 リ ス ク	株式および債券等の有価証券の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる可能性があります。債券等への投資を行う場合には、発行体の債務不履行や支払遅延等が発生する場合があります。
為 替 変 動 リ ス ク	外貨建資産の円換算価値は、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。
流 動 性 リ ス ク	急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。
カ ン ト リ ー リ ス ク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または資本取引等に関する規制の変更や新たな規制が設けられた場合には、投資方針に沿った運用が困難になることがあります。

基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

#### 【その他の留意点】

当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。

#### <関連するファンドに関わる事項>

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としており、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により、基準価額が変動し損失が生じる可能性があります。従いまして、投資元本が保証されているものではありません。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書（交付目論見書）」および「契約締結前交付書面（目論見書補完書面等）」を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

#### <当資料のお取扱いにおけるご注意事項>

当資料は、当社が情報提供を行う目的で作成したものであり、法令に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼に足ると判断する情報に基づき作成していますが、その正確性を保証するものではありません。また、当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務を一切負いません。

次頁に続く

## 当ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時手数料	購入時にご負担いただきます。 購入金額に、 <b>3.30% (税抜 3.00%)</b> を上限として、販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。	商品内容の説明ならびに購入手続き等にかかる費用
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>0.10%</b> の率を乗じて得た額(換金時)	換金される投資者に換金で生じるコストを一部負担していただくものです。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用 (信託報酬)	<b>年 1.0109% (税抜年 0.919%)</b>	ファンドの日々の純資産総額に信託報酬率を乗じて得た額とします。ファンドの信託報酬は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。
(委託会社)	税抜年 0.30%	ファンドの運用等の対価
(販売会社)	税抜年 0.60%	分配金・換金代金の支払い、運用報告書等の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	税抜年 0.019%	運用財産の管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
投資対象とする 投資信託証券	年 0.60% 程度	投資対象とする投資信託証券の実質投資比率を勘案した運用管理費用
実質的な負担	<b>年 1.6109% (税抜年 1.519%) 程度</b>	投資対象とする投資信託証券の運用管理費用を加味して、投資者が実質的に負担する運用管理費用について算出したものです。
その他費用 ・手数料	ファンドの保有期間中、その都度ファンドから支払われます。 ・有価証券売買委託手数料／保管銀行等に支払う外貨建資産の保管費用／信託財産に関する租税、信託事務処理に要する費用等 ・振替制度にかかる費用／印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用／監査法人等に支払う監査報酬等 [ 純資産総額に対し上限年 0.20%(税込)として日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。 ] ・投資先投資信託証券における売買にかかる手数料、租税、カストディーフィー、監査報酬等 ※その他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率等を記載することができません。	

ファンドの費用の総額については、投資者のファンドの保有期間に応じて異なるため、表記できません。

### 注記：

#### HSBCホールディングス plc

HSBC グループの持株会社である HSBC ホールディングス plc は英国・ロンドンに本部を置いています。HSBC グループは、世界の 57 の国と地域でお客さまにサービスを提供し、3 兆 2,340 億米ドル (2025 年 9 月末現在) の総資産を持つ、世界有数の金融グループです。

#### HSBCアセットマネジメント

HSBCアセットマネジメント株式会社は、HSBC グループの資産運用部門として個人・事業法人・機関投資家に投資ソリューションを提供する、HSBCアセットマネジメントに属しています。HSBCアセットマネジメントは 20 の国と地域に拠点を持ち、それぞれのマーケットを深く理解している国際的なネットワークを活かして、お客さまにグローバルな投資機会を提供しています。HSBCアセットマネジメント全体の運用資産は約 8,520 億米ドル (2025 年 9 月末現在) です (HSBC Jintrust Fund Management Company Limited を除く)。

#### HSBCアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第 308 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／日本証券業協会